

全国保健所管理栄養士会 スキルアップ講座

No.17 保健所管理栄養士を取り巻く最近の話題から ～役割と関わり方実践編～

1 趣旨

近年、日本各地で地震や風水害等の自然災害が予測もしないスケールで国民生活に不安と衝撃を与えています。東日本大震災から被災地へ行政栄養士の派遣が始まり、被災者の栄養・食生活支援活動が重視されるようになりました。被災地での支援活動については、行政栄養士のほか、日本栄養士会（JDA-DAT）や災害時健康危機管理支援チーム（DHEAT）などの支援体制が構築されつつありますが、被災地における受援体制や平常時の体制においては、その整備が急務となっています。

そこで、平成30年度地域保健総合推進事業「大規模災害における栄養・食生活支援活動の連携体制と人材育成に関する研究」で作成した「大規模災害時の栄養・食生活支援活動ガイドライン」及び収集した災害対応事例から、栄養・食生活支援について考えます。

2 主催 全国保健所管理栄養士会 事務局：一般財団法人日本公衆衛生協会

3 後援 全国栄養士養成施設協会

4 期日 令和2年2月15日(土) 10:30～16:30

5 会場 東京家政学院大学 1508 教室
住所：東京都千代田区三番町 22 番地
電話：03-3262-2251(代)
アクセス：JR 中央線(各駅停車)、都営新宿線、
東京メトロ南北線、有楽町線 市ヶ谷駅



6 内容と日程等

時間	次第	内容	講師
10:00～10:30	受付		
10:30～10:40	開会	主催者あいさつ／オリエンテーション	
10:40～11:00	報告	「保健所における災害時給食施設支援実態調査報告」	報告者 新潟県新津保健所 課長代理 磯部 澄枝
11:00～12:00	情報提供	「大規模災害時の栄養・食生活支援活動に関するアクションカード」について	熊本県水俣保健所 参事 久保 彰子 氏
12:00～13:30	ランチオンセミナー※	「望ましい行動変容を促すナッジとは？各自治体における保健活動の事例収集」	女子栄養大学 栄養学部 准教授 林 芙美 氏
13:30～16:00	演習	「災害対応事例から災害時栄養・食生活支援について考える」 (1) ケースメソッドについて (2) ケースメソッドを用いた演習	女子栄養大学 栄養学部 教授 武見 ゆかり 氏
16:00	閉会		

※ランチオンセミナー：行動経済学・ナッジによる健康無関心層にむけたアプローチの基礎を学び、趣旨に御理解いただける場合には、事例収集に御協力いただきます（出席者にはスマートミールランチ付き）。

7 参加申込み、参加経費

(1) 参加申込みは、別紙「参加申込書」に必要事項を記入のうえ、令和2年1月17日(金)(必着)までに、メール又はファクシミリによりお申し込みください(定員100名先着順)。ファクシミリの場合は、濃くはつきりと御記入願います。

送付先：一般財団法人日本公衆衛生協会 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-29-8

TEL: 03-3352-4281 FAX: 03-3352-4605 E-mail: hc-kanri@jpha.or.jp

(2) 参加費は、当日、受付でお支払いください。○会員3,000円 ○会員外9,000円 ○当会に未入会で今回の研修会から入会いただける場合は、7,000円(令和元年度会費4,000円を含む)

なお、請求書発行や参加費支払い方法の変更(振込)等を希望される方は、事務局まで御連絡下さい。